

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

経営者への活きた言葉

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666

FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

上司の「何とかしろ」が社員の「うつ病」の原因

米沢 宏（ジャパンEAPシステム取締役・精神科医）

- うつ病で休職する人の中で、最も多い原因が「上司との関係」です。心を病む社員が多い会社には共通点があります。売り上げなど成果を強く求めながら、社としての方針を示さず、社員に負荷を与えるのです。例えばライバル企業の新製品にシェアを奪われたら、本来会社として対策を立てるべきですが、それをせず「何とかしろ」と現場社員を追い立てたりします。
- 何とかするのは管理職の仕事です。でも、実は部下を追い立てる上司本人も上層部から「とにかく売り上げを伸ばせ」と強いプレッシャーをかけられている、ということが多いためです。玉突き状態です。企業は、まっとうな労務管理・健康管理を整えておく必要があります。
- 逆に、心を病む社員が少ない会社では、経営トップが、事業を通して何を実現したいか、明快にビジョンを伝えています。上司と部下が話し合っって目標を定め、上司が部下に「あなたの考えでやりなさい。責任は自分が取るから」とアドバイスする。そんな信頼関係を築くことができれば、社員は自分の強みを発揮し、自ら成長することができると思います。

(参考:「日経ビジネス」2024年8月5日号)

経営者のための社会学

博士号取得者数異例の減少傾向

- 生成AIなどの技術革新が世界を変えようとしている今、イノベーションを支えるのは高度で専門知識を持つ人材だ。その対象となる指標の一つが博士号取得者数だ。主要国では、インターネットが普及した2000年以降、博士号取得者数が大幅に増加している。トップの英国が人口100万人当たり340人、ドイツが同338人、韓国が同317人、米国が285人と続き、韓国と米国は倍増の勢いだ。
- ところが、日本の博士号取得者数は増えるどころか減少傾向が続いている。日本は同123人と、諸外国に大きく後塵を拝している状況だ。わが国は01年のe-Japan戦略で5年以内に世界最先端のIT国家になると宣言していた。しかし、それを支える専門人材の育成をおろそかにし、現在に至っている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年8月10日・17日号)

新規成長分野

クルーズで「脱・舞浜依存」(オリエンタルランド)

- 東京ディズニーシーの開業からまもなく23年。オリエンタルランドが新たな事業として目をつけたのは、またもや「海」だった。オリエンタルランドは7月9日に会見を開き、船旅を提供するクルーズ事業に参入すると発表した。船を新たに建造し、2028年度の就航を目指す。まずは首都圏の港発着で、2~4泊のショートクルーズを運航する。
- 船内はテーマパークそのものとなりそうだ。ディズニーキャラクターとのふれあいができるのはもちろん、プール、ジム、エステなどを設ける。料金は一般的な客室で1人当たり10万~30万円の予定。東京ディズニーリゾートと同じようにファミリー層や若年層、訪日外国人旅行者利用を想定している。オリエンタルランドは、新造船が就航する28年度から数年でクルーズ事業の売上高が1000億円と見込む。

(参考:「週刊東洋経済」2024年7月27日号)

古典に学ぶ

空海の高野山での生活

- 朝は、清らかな谷川の水を一杯飲んで命の糧とし、夕方は山の霞を一口食べて心を養う。まるで仙人のようですが、これは、空海が高野山で過ごした日々を綴った文です。
- 清冽な気に満ちた高野山で、空海は大自然に抱かれながら修行三昧の毎日を送りました。霊山にあふれる自然の精気が精神性や感性を高めました。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)